

目 次

1 . 計算サービス休止について	1
2 . センター休館のお知らせ	1
3 . IT相談コーナーの休止について	1
4 . 可視化アプリケーション講習会の開催について	2
5 . アプリケーション・パッケージ利用講習会の開催について (再掲)	4
6 . 数式処理ソフトウェア Maple のレベルアップについて (再掲)	5

1 . 計算サービス休止について

名古屋大学の夏季休暇に伴いシステムの効率的運用を図るため、スーパーコンピュータ(hpc)の計算サービスを、下記のとおり休止します。

・休止期間

8月11日(土)0:00 ~ 8月15日(水)15:00

なお、8月6日(月)と9月3日(月)の定期保守は、8月15日(水)の休止期間中に実施します。

メールサーバ(nucc)は、平常どおり運用します。

2 . センター休館のお知らせ

8月13日(月)・14日(火)は、名古屋大学一斉夏期休暇になりますので、センターを休館いたします。

3 . IT相談コーナーの休止について

8月6日(月)~8月17日(金)まで、IT相談コーナーは休みますのでご了承ください。

なお、緊急相談はホームページのIT相談室を活用ください。

4. 可視化アプリケーション講習会の開催について

可視化アプリケーション講習会を、下記のように開催します。

講習会の特定セッションの受講や可視化相談のみの参加も受け付けます。

なお、可視化相談で、手持ちのデータがある方は当日お持ちください。

受講の申込は、センター4階事務受付（052-789-4355）で行います。

場 所： 本センター1階端末室

対 象： 本センター利用有資格者および学部学生

定 員： 15名

申込締切日： 各講習会開催日の4日前までです。

ただし、定員になり次第締切ります。

申 込 先： 本センター4階事務受付

電 話：052-789-4355

メール：koshu@itc.nagoya-u.ac.jp

URL： <http://www2.itc.nagoya-u.ac.jp/cgi-bin/kousyu/csview2.cgi>

（電子メールで申し込む場合には所属、職名等の身分も明記してください。）

<各講習会内容と開催日時>

1) AVS/Express と VisLink 利用講習会

日時：9月5日（水）13時～17時

9月6日（木）10時～16時

内容（1日目）：

- ・ AVS/Express の概要と機能説明
- ・ AVS/Express のファイルフォーマットの説明
- ・ AVS/Express の基本操作
- ・ 可視化相談

内容（2日目）：

- ・ AVS/Express を使ったプログラミングと可視化実習
- ・ リアルタイム可視化システム VisLink の概要と機能説明
- ・ VisLink を使ったプログラミングと可視化実習
- ・ 可視化相談

2) IDL 利用講習会（中級編）

日時：9月13日（木）10時～17時

9月14日（金）10時～17時

内容：

- ・ IDL の開発環境 IDLDE の機能説明
- ・ プログラミング（変数、構造、制御ステートメント、データの入出力等）
- ・ ダイレクトグラフィックスの概要
- ・ 信号処理、画像処理、地図データ処理

3) 可視化入門講習会

日時：9月19日(水)13時～17時

内容：

- ・ 可視化の概要・事例紹介
- ・ 可視化機器の紹介(バーチャルリアリティシステム等)
- ・ 可視化実習と3次元動画コンテンツ作成(VisPlusシステムを使用)
- ・ 可視化相談

<パッケージ一口メモ>

1) AVS/Express

ビジュアル・プログラミングにより、独自のグラフィックスアプリケーションの開発および可視化を行うツールです。流体解析，構造解析，計算化学，医療画像などの幅広い分野で利用されています。大規模データにも対応しています。

可視化結果は、本センター1階端末室に設置してある可視化機器を使って、様々な可視化(大画面，立体視，フライスルー等)を行うことができます。

2) VisPlus

VisPlusは、AVS/Express上で動作し、3次元時系列データや各種のシミュレーション計算データの可視化を目的としたシステムです。可視化するオリジナルデータを基に、入力データの生成から、可視化処理、結果の保存までを一貫してサポートします。

詳しくは、次のURLを参照してください。

<http://sora.cc.nagoya-u.ac.jp/visplus/main.html>

3) VisLink

VisLinkは、利用者の解析プログラムとAVS/Expressとを連携させてリアルタイムに可視化を行うツールです。VisLinkは、解析途中のプログラムの計算プロセスの把握や、早期エラーの発見，対処を目的としたもので、トラッキング機能とステアリング機能が利用できます。

4) IDL

計測・実験，数値計算，統計解析，シミュレーション，ビジュアライゼーションなどで使用されているソフトウェアです。主に、データ解析，可視化，アプリケーション開発に利用されています。地球科学，宇宙科学の分野でよく利用されています。

5 . アプリケーション・パッケージ利用講習会の開催について（再掲）

スーパーコンピュータやアプリケーションサーバで利用可能なアプリケーション・パッケージの初心者向け講習会を、下記の内容で開催します。

今回講習を行うパッケージは、

- ・ STAR-CD : 非構造格子・汎用熱流体解析プログラム
- ・ ANSYS ICEM CFD: 汎用メッシュ生成プログラム

です。受講の申込は、センター4階事務受付で行います。

場 所: 本センター1階端末室

対 象: 本センター利用有資格者および学部学生

定 員: 15名

申込締切日: 各講習会開催日の4日前までです。ただし、定員になり次第締切ります。

申 込 先: 本センター4階事務受付

電 話: 052-789-4355

メール: koshu@itc.nagoya-u.ac.jp

(電子メールで申し込む場合には所属、職名等の身分も明記してください。)

<各講習会内容と開催日時>

1) STAR-CD 入門講習会

日時: 平成19年7月10日(火)10時~16時

平成19年7月11日(水)10時~16時

内容:

- ・ STAR-CD の概要と機能説明
- ・ STAR-CD 実習 (モデル生成, メッシュ生成, 境界条件設定, 解析実行, 可視化)
- ・ 相談

2) ICEM CFD 入門講習会

日時: 平成19年7月12日(木)10時~16時

平成19年7月13日(金)10時~16時

内容:

- ・ Hexa メッシュ生成を対象とした機能説明と実習
- ・ STAR-CD へのデータトランスファー
- ・ 相談

<パッケージ一口メモ>

1) STAR-CD

非構造格子を用いているため複雑な形状に対応できます。ファン、ポンプ、タービンなどの移動境界問題への適応、固体との熱連成、粒子連成、二相流、自由表面、拡散、燃焼などの化学反応、非圧縮性及び圧縮性など多岐に渡る物理モデルを保有しており、様々な現象の解析が可能です。熱伝達係数や温

度、圧力データを構造解析ソフトウェアへのデータ受け渡し機能などもあり、現在国内ナンバー 1 の導入実績を誇るソフトウェアです。

2) ANSYS ICEM CFD

ANSYS ICEM CFD は、流体・構造・振動・衝突解析など CAE で必要なメッシュを生成するためのハイエンド統合メッシュジェネレータです。CAD のダイレクトインターフェイスをはじめとする形状のインポート，100 種類以上の解析コードへの出力インターフェイス，各種メッシュ生成，解析結果の可視化等の機能が利用できます。

6 . 数式処理ソフトウェア Maple のレベルアップについて (再掲)

数式処理ソフトウェア Maple が、5 月 7 日 (月) より、Maple 11 にバージョンアップしました。このバージョンでは、次の機能が拡張されています。

- ・ 各種技術計算パッケージの追加
- ・ ドキュメントやプレゼンテーション・ツールの充実

詳しくは、次の URL を参照してください。

<http://www.cybernet.co.jp/maple/product/maple/maple11/index.shtml>